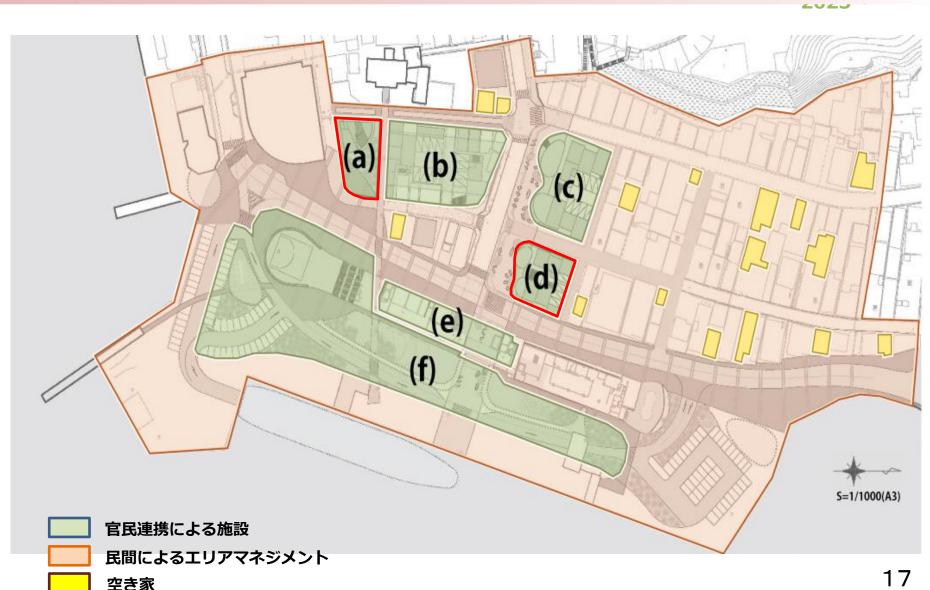
3)官民連携事業について

官民連携事業について

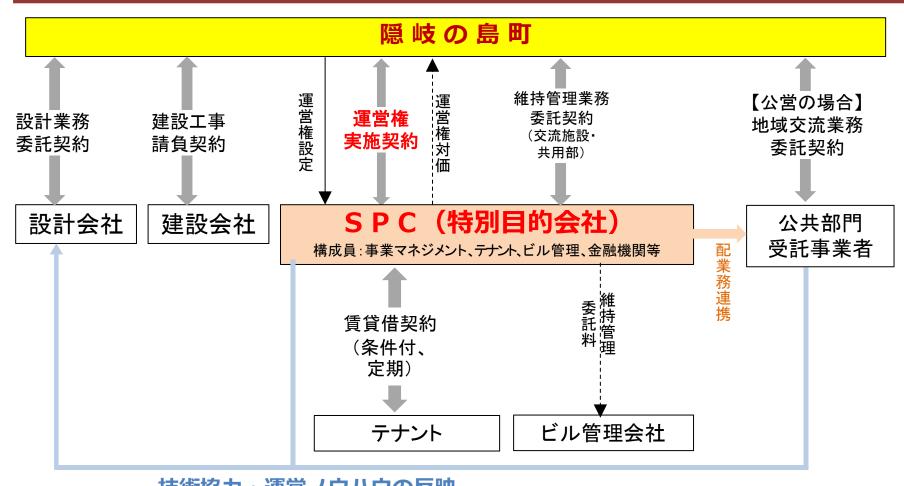
公民連携・官民連携のプロジェクト



官民連携事業について

官民連携のプロジェクト 第2弾

(a) 事業スキーム: EOI(事前に運営者が関与)



技術協力・運営ノウハウの反映 (EOI)

官民連携第2弾 dプロジェクト

(d) 施設(R7年度内閣府:民間資金等活用事業調査補助を活用)

「うみまち通り」に人の滞留とにぎわいを生むため「交流」「商業」「暮らし」の機能をもつ施設を計画 民間の事業パートナーが町と連携して計画段階から進める。

土地は町が取得し、事業パートナーは町から借地、施設整備を行い、施設の所有者となる。 民間部門の用途、テナント、入居者等は事業パートナーが計画、運営する。

【スケジュール】

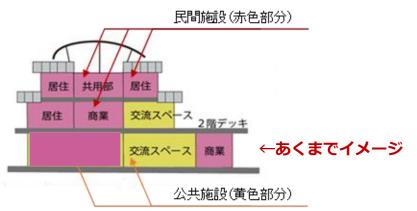
R7: 事業パートナー公募手続き、公募、事業者の選定

用地取得

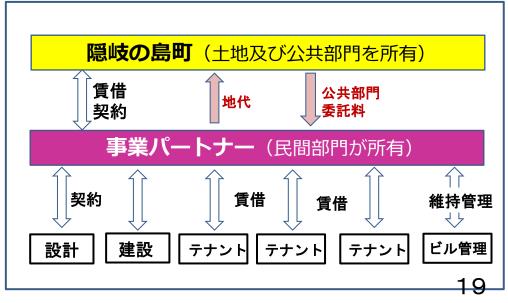
R8:パートナー会社が設計・施工発注

R9:施設整備

R10:D施設オープン



【事業手法】



官民連携事業について

- 一般社団法人 隠岐まちづくり研究所(今後の事業計画)
- 目標1 まちづくり会社としての認知の拡大と信頼の獲得
 - •「うみまちだより」: 年間6回発行
 - ·SNSフォロワー数:1000人達成
 - •相談窓口への訪問者数:50名以上
- 目標2 西郷港周辺まちづくりにあたってのコミュニティの下地をつくる
 - まちの資源情報(ヒト・モノ・コト):100件以上を整理
 - ・うみまちマルシェ年間:5回開催、各回来場者数:200人以上
 - •アイノマ大学年間:8回開催、延べ参加者数:30人以上
- 目標3 | まちづくりの拠点をつくる・組織体制の強化
 - ・拠点年間延べ利用者数:50人以上
 - •テレワーク・サテライトオフィス利用企業:1社以上
 - •お土産開発:試作品3商品以上作成